

ぼくのお兄ちゃん

緑台小学校

三年

山田

昌大

ぼくには、自へいじょうも知てきじょうが
いがあるお兄ちゃんがいいます。

どんなお兄ちゃんかと言うと、すきな物は、
トランプ、ポリン、かがみを見ておどる事、おが

あさんじい、しよなびの歌を聞く事、プールの
てあそぶこと、おすしのえび、ハンバーク、

かきのたねです。きらいな物は、ちやうしか
鳥や赤ちやんのなき声、たまごやちいなび

食べない物がたくさんあります。みんななち
がう所は、おしやべりや、文字を読むのがい

かてです。ぼくは、お兄ちゃんがなぜ歌がす
きなのか、いつも何を思っているのか、何を

話しているのが知りたいです。

自へいじょうも知てきじょうがいをもち
知るために、ふたつの本を読み、あかたこ

かあります。なぜ赤ちやんや鳥の鳴き声かき
らいかというところ、ふつろの人よりも音が大き

く聞こえるということ。文字がわからぬ人には、絵でつたえるといいことです。

お兄ちゃんかぼくのお兄ちゃんですよ。たつとは、ぼくがなっている時に頭をなでてくれたり、家の中でおいかけ、こをしたり、くすぶりあったりしてくれなことです。

自へいしようは、なおらぬとお母さんが聞きました。でもぼくは、もしなおたら、いっしょにゲームをしたり、公園でいっしょに遊んだり、スイングをいっしょに遊んだり。

いのです。そして、たかしんがべりがしたいのです。さいごに、ふくししはだれもが大切なことをしている人がいたり、大きな声を出している人がいたり、いかなることがあるのかもしれないから、へんだと思わないでほしいです。ぼくのお兄ちゃんみたいの人に会ったら、やさしくしてほしいと思います。